

一 解僱際ニ於テハ左ノ規程ニ依リ情状ニシテ日給額ノ六十日分

ニ解僱後ニ於テハ左ノ規程ニ依リ情状ニシテ日給額ノ六十日分

六 勤続年数ハ左ノ資料ニ依リ之ヲ決定ス

一 公簿

二 在職中ノ本事業高課ニ在職中ノ其他各府又ハ直接使用セラルル者員以上ノ職員ノ職氏名使用セラルル時期

三 本人ノ提出セル履歴書

本履歴書ハ在職後所名直接使用セラルル者員以上ノ職員ノ職氏名使用セラルル時期

其他参考上ノ事項項ノ可成詳細ニ記述スルコト

備考

但し新南支店其他一取ニ公簿ニシタルモノナリ  
向キ東京市並ニ兼業員一取規程ニヨリ十年以上勤続者ハ外ニ九十日分十五年ヲ越ス時ハ二年ヲ増シ  
毎二十日分ヲ支給セル限ニテ

勞務第 三一五 号

昭和元年十二月二十日

寫

参事 總 監 大 田 政 弘

内務大臣臨時代理逓信大臣次長建謙藏殿

社會局長官長兩隆一郎殿

京都大阪神奈川兵庫愛知

福岡各廳府縣知事殿

東京市土木局備員録雇ニ刺スル件 (第一報)

標記問題既報後ノ状況左ノ通り

記

一 後兼員側ノ勤靜